

学びのススメ

漢字コンテスト結果速報



先週、漢字コンテストを実施しました。60問中50問で出題しました。

昨年同様、ジュニアオリンピック方式を採用し、最高点が「金賞」、次点が「銀賞」、次々点が「銅賞」とし、個人の頑張り^{たた}を讃えていきます。採点の結果、入賞者の状況は以下の通りです。

《漢字コンテスト入賞者数》

		金賞（満点）	銀賞（49点）	銅賞（48点）
1	年	9名	9名	3名
2	年	10名	6名	4名
3	年	13名	9名	3名
全	校	32名	24名	10名

全体の約4割の生徒が満点を取り、「金賞」を獲得することになりました。頑張った成果が結果としても表れ、達成感を味わっているのではないかと思います。

ただ、昨年度の結果と比較してみると、「金賞」受賞者は17%も減っています。その分、「銀賞」「銅賞」、賞にもれた生徒が増えたということにもなります。

ちなみに、漢字コンテスト経験者2・3年生の結果を比較すると以下の通りになります。

【2年生】今年度「金賞」10名→昨年度「金賞」17名（－7名）

【3年生】今年度「金賞」13名→昨年度「金賞」18名（－5名）

※【参考】【1年生】今年度「金賞」9名→昨年度1年生「金賞」17名

昨年度とは構成員（メンバー）や問題が違っているので、比較にはならないのではないかと思います。なぜなら、「徹底反復」によって学習内容を確実に身に付けることに変わりはないからです。さらには、範囲表の中から同じ問題が必ず出るわけですから。

誤答分析をすると、①「正確さ」に問題があり失点している、②学習量が足りず空欄を作ってしまうという2大傾向が浮かび上がってきます。

①については、前号でまさに触れました。漢字をよく見つめ、形や構成部分をしっかりと確認することの大切さを取り上げたところです。

②については、「やる気」の問題だと思います。「自信がつくまで徹底してやる！」という強い意識を持てたかどうかです。今回のテストで、入賞できなかった人は、この部分が弱かったのではないのでしょうか？

しかし、1つだけ言えることは、2・3年生の漢字力は間違いなく高まっているということです。やはり「陰山メソッド」を使って徹底反復を続けている成果は出ているのです。

1年生も徹底反復学習を習慣化し、自分の実力を伸ばしていきましょう！

